

# 学園 だより

- 2 ■ 卒業式・修了式を迎えるにあたって
- 4 ■ 進学・就職体験記
- 6 ■ 第55回工嶺祭
- 8 ■ 学生の活躍
- 12 ■ 後援会だより/校内短信/表紙のことば



# 卒業式・修了式を迎えるにあたって



校長  
土居 信数

## Enjoy & Good Luck!

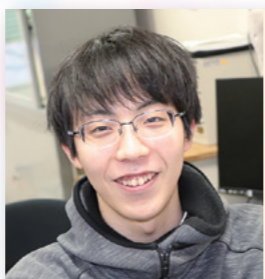
卒業、修了おめでとうございます。  
 本年度の目標は「この一年を乗り切る」でした。オンライン授業や課外活動の制限などいろいろなことがありましたが、最後までよく頑張ることができました。  
 「人の世に三智がある」という言葉があります。本校の教育ではひとつは授業や実験、実習により学んで得る智あり、ひとつは運動部や文化部、コンテスト等の課外活動により人と交わることで得る智であり、ひとつはみずからの体験により得る智が該当します。  
 学校では学んで得る智が強調されがちですが、社会では「三智」がすべて必要になります。課外活動ではみなと協力して同じ目標や目的に向かって活動するなかで、協調性やリーダーシップ、コミュニケーション能力などが養われます。みなさんはすでに三智の芯はできています。これから時間をかけて大きく育ててください。  
 人生よいときもあればわるいときもあります。調子のよいときはおごりに注意しましょう。調子の悪いときはくさらないでください。ときどきよいですから長野高専のことを思い出してください。さあ旅立ちです。



### 高専生活での出会い

5M 金木 柚香  
(飯山市立城南中学校出身)

入学時は5年という長い高専生活と知らない人だらけの環境に不安を感じていました。けれど、今振り返るとあっという間だったと感じられる程充実した5年間だったと思います。  
 私は高専でたくさんの人と関わることができました。部活やクラス、工嶺祭の役員などで様々な人に会い、たくさんの方にお世話になりました。  
 5年間楽しく過ごすことができたのは周りの方々のおかげだったと思います。本当にありがとうございました。



### 私の5年間の足跡

5S 西澤 和輝  
(富山市立東部中学校出身)

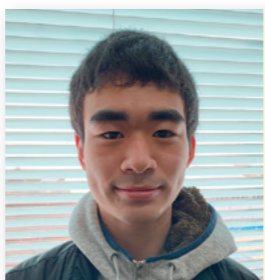
私は5年前の4月に長野高専に入学しました。私は県外からの入学者ということで、周りに知り合いはおらず、新しい生活に対する不安は計り知れないものでした。しかし、個性的な仲間たちと出会うことで、その不安はすぐに霧散しました。  
 文化祭に向けてクラスメイトと作業を共に行ったり、部活動のコンクールに向けて意見を出し合ったり、研究室で取り留めのない会話をしたり、そんな小さな日々の積み重ねが私の大切な宝物です。  
 これらの思い出を糧に、社会人として精進していきたいと思っています。



### 頑張れる環境に恵まれた5年間

5E 大橋 朱里  
(信濃町立信濃小中学校出身)

私は陸上競技部とダンス同好会で活動してきました。陸上競技部は整った練習環境、やる気のある顧問の先生や部員、高専大会という手の届きそうな目標もあります。ダンス同好会は、自由に外部のイベント・コンテストに多く参加することができ、工嶺祭ではピカピカのステージで踊ることができました。コロナ禍で部活ができない間も、代わりに卒業研究に力を入れることができました。先生方にサポートしていただいたおかげです。  
 自分が頑張りたいと思えば、目標を見つけやすい環境が整った学校であることに感謝しています。ありがとうございました。



### 出会いに恵まれて

5J 青木 総樹  
(長野市立三陽中学校出身)

高専入学前は「長い5年間が始まる」と考え、不安な気持ちがありました。そんな5年間も気づけばもう終わろうとしています。卒業を前に5年間の高専生活を振り返ると日々の勉強だけでなく、工嶺祭やインターンシップなどがあり、あっという間の5年間でした。そんな5年間を楽しく過ごすことが出来たのも、いい出会いがたくさんあったからです。いい出会いがあったからこそ様々なことに挑戦できました。先生方、クラスの皆、楽しい高専生活をありがとうございました。



### 今までとこれから

5C 矢島 大也  
(御代田町立御代田中学校出身)

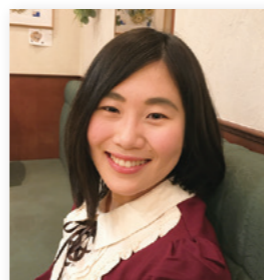
5年間という時間は過ぎていくうちは長く感じるものですが、過ぎてしまうとあっという間でした。入学前は寮生活ということもあり、不安でしたが、沢山の仲間に出会いました。また、部活動の先輩、同級生、後輩にも恵まれ、部活に打ち込むこともできました。5年間という歳月で私は色々なことを学ばせていただきました。高専で経験したことを活かして、社会人としてこれからも頑張っていこうと思います。



### 感謝

2AP 小林 誠虎  
(中野市立高社中学校・長野県長野工業高等学校出身)

僕は長野工業高校を卒業後、長野高専4年次に編入しました。編入した当時は右も左も分からないような状況で、教室の場所、先生や同級生の名前を覚えるのも一苦勞でした。それでも何とか専攻科に進学し、2020年度に卒業します。  
 長野高専には本科、専攻科合わせて4年間在学しました。この4年間は授業、研究、学外実習など、非常に多忙な毎日でした。それでも楽しく過ごせたのは、指導していただいた先生と一緒に切磋琢磨した友達のおかげです。本当にありがとうございました！



### 7年間で見えた将来への道

2AE 北村 樹麗  
(長野市立柳町中学校出身)

私は専攻科に進むことによって、将来について深く考えることができました。本科だけでは、私はどんな技術者になりたいか決めることができませんでした。しかし専攻科で、長期のインターンシップに参加したり留学生との交流をしたりするなかで、世界中で使われる製品を自身の手で開発できる技術者になりたいと気がつくことができました。また、理想の企業を見つけることもできました。あっという間の7年間でしたが、とても濃密でした。今までお世話になった皆様、本当にありがとうございました！



### 互いにエールを！

5M担任 北山 光也

昨年の朝ドラで昭和の作曲家古関裕而さんがモデルとなった「エール」が放送されました。古関さんは、「栄冠は君に輝く」など多くの応援歌を作曲しました。変化の激しい時代ですが、お互いにエールを送り合い、乗り越えていきましょう！



### 卒業おめでとう

5E担任 柄澤 孝一

皆さんに「体力・気合・努力・対応力」という言葉を贈りたいと思います。これから様々な試練が待ち構えていると思います。そのときはこれらの言葉を思い出して乗り越えてください。一度しかない人生、自分の将来に向かって突き進み、思いっきり楽しんでください。



### 5Shinya

5S担任 鈴木 伸哉

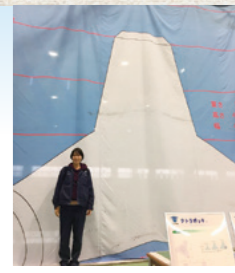
3年での授業が多いからか、クラスLINEの名前を【勝手に】3Shinyaにしていたとは！きっと、それが4年で担任になる運命に繋がり、4Shinya、5Shinyaとなったのでしょうか。最高のクラス・最高の学生たちでした。ありがとう。



### 人生のピーク

5J担任 荒井 善昭

生物学的なヒトのピークは今の君たちです。これから君たちの機能は落ちる一方です。それを考えると、何をやるにしても急いだ方がいいと思います。後回しにしない。そうしたらいい人生になるはずですよ。



### のんびりとしあわせに

5C担任 酒井 美月

僕の人生のいまは何章目くらいだろう、という歌に今はどのあたりだろう、と問いかける詞があります。高専の5年間で、振り返った時にそれぞれにいとおいしいものであることを祈っています。どうぞこれからも幸せに。



# 進学 就職 体験記

就職先に内定した先輩、大学の編入学・大学院入学試験に合格した先輩に体験記を書いていただきました。在校生の皆さん、ぜひ参考にしてください。



就職

## 長期インターンの経験

2AP 谷口 成志  
(長野市立東部中学校出身)

私は、本科在籍時から就職を考えていたものの、具体的な方向性を決めかねていたため、専攻科に進学しました。専攻科では、1年生の後期に長期インターンシップを実施しており、実務経験を積めるだけでなく、業界研究を深くできるので、自分の就職活動にとっても役立ちました。そして、就職活動については、新型コロナウイルスの影響により、説明会や面接もWEB上で行いました。直接的なやり取りが少ないことへの不安はありましたが、長期インターンでの経験により、迷いの無い進路選択が行えました。



進学

## 先延ばしにせずに

5M 宮崎 拓真  
(信州大学附属松本中学校出身)

私は入学当初から明確な将来の目標がなかったので、志望校を決めるときにとっても悩みました。なんとか合格することができましたが、もっと早く決めておけば余裕をもって試験に臨めたのではないかと後悔しています。ぜひ早いうちから進路について考えてください。明確な目標がなかったとしても、低学年のうちから時間をかけて考えれば自分に合った進路を見つけることができますし、計画的に進学準備が進められます。まだ先のことだから、と思わずにできることから始めましょう。頑張ってください。

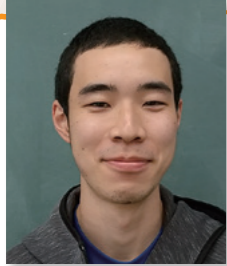


進学

## 一つの分野を極めること

2AE 北澤 太基  
(長野市立犀陵中学校出身)

「この分野では誰にも負けない」そういった人間に成長したい、と専攻科学外実習先の奈良先端大学院大学(NAIST)で強く思いました。様々な分野のエキスパートが集まる中で研究は、自身を大きく変える経験でした。以来、一つの分野を極めることの楽しさや大切さを知り、NAISTの進学を決めました。進学は、学費がかかり、就職が遅れるなどデメリットもありますが、大学院は、レベルの高い環境に身を置くことができるチャンスです。就職を選ばず、大学院で一つの分野を極めることもよいと思います。

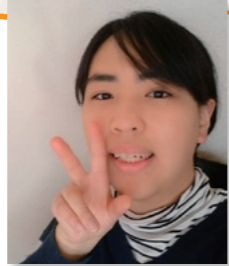


就職

## 一人で抱え込まずに、まず相談

5S 古畑 圭梧  
(塩尻市立塩尻西部中学校出身)

今年はスケジュールがずれ込んだりオンラインになったりと、イレギュラーの連続でした。就職活動中は常に不安だらけで、辛い経験もありました。そんな不安な気持ちを担任の先生のみならず、友達や研究室の先生など様々な人に相談しアドバイスをいただきました。そのおかげで納得できる進路決定をすることができたと思います。これから就活を控える皆さんも、不安になったら周りの人に相談してみてください。心が少し軽くなると思います。もちろん面接練習も大切に。ただし練習のやりすぎは禁物です。



就職

## コツコツと努力

5J 木次 明日香  
(小諸市立小諸東中学校出身)

私は、4年生の時に留年してしまいました。正直に言うと「もう駄目だ」と思いましたが、留年したからこそできた時間を少しでも有効活用しようと考えました。まず、留年したときに単位を取れなかったり、取れたとしてもギリギリだったりした苦手科目を、たとえ少しでも克服できるように毎日少しずつ勉強しました。また、1回目の4年生まではあまり挑戦できていなかった資格試験にも挑戦しました。その結果、ご縁があって内定をいただくことができました。コロナの影響などもありますが、それでも努力は変わらず必要だと感じました。



進学

## 事前準備がとても大切

5E 橋本 健二  
(長野市立若穂中学校出身)

編入試験は簡単に受かる。勝手にそう決めつけた自分は現実を知ってから苦労しました。編入試験を受けるためには、まず事前準備がとても大切です。もし進学を考えているのであれば、まずは気になる大学についてたくさん調べるところから始めてみてください。特に試験方法が推薦か学力かその両方あるのか、面接や口述試問では何が聞かれるのか、試験科目とその難易度や範囲はどれくらいなのか。昨年までの過去問や、進学報告書を参考にしながら準備していきましょう。焦らず計画的に頑張ってください。応援しています！



進学

## 支えられて

5C 木角 有希  
(佐久市立浅科中学校出身)

編入試験の挑戦にあたって、自分自身の努力はもちろん必要です。しかしそれだけではなく、周りの人たちの支援があったからこそ、乗り越えられたと思っています。過去問の解答作成や面接練習をしてくださった先生方、試験の情報を教えてくれた先輩たち、そして励まし合う友人がいたことがとても大きかったです。苦しいときもありますが、助けになってくれる人たちがきっといます。合格してから恩を返しまくるつもりで、たくさん頼っていいと思います。編入に興味があったら、まずは誰かに話を聞いてみましょう。

## 就職編 先輩からの声

- 自分のやりたいことを明確にしよう。
- 学生のうちにやりたいことをやったほうがいい。
- 面接練習はいろんな先生にお願いしてやってもらおう。
- 面接では質問に対して一言で答えるのではなく、何故そう思うのかを具体的に述べるとよい。
- 就活に早いと言うことはない！早くから企業研究をしよう！
- 授業の内容や作った物について面接で深いところまで聞かれたので、しっかりと理解しておけばよかった。
- 何事にも一生懸命に取り組もう！
- なにか1つでもアピールポイントがあるとだいぶ有利になる。

- 調べるだけでは会社の雰囲気などがわからないので、積極的にインターンシップに行こう！
- 妥協せずに絶対にこの企業でなければだめだと思えるような企業を探そう！
- なにかからすればよくわからなかったらとりあえず先生に相談しよう。先生はたくさんの企業を知っています。
- 就職したらなにをしたいかを明確にするとある程度業種や会社が絞れる。



## 進学編 先輩からの声

- 志望校は早めに決めた方がいい。
- 3、4年で高い成績を取っておけば、推薦が狙える。
- 大学で何がしたいのか、その大学を卒業して何がしたいのか決めておく。進学を漠然とした目的にしない。
- 試験科目が年度ごとに変更されることがあるので、受験の要項はよく確認しておく。
- 試験の過去問には解答がない場合もあるので、早めに入手して科目の先生と解答を作ることから始めると良い。
- ネットやパンフレットのみだと分からないことが多いので、オープンキャンパスなどを活用して実際に大学に行ってみよう。
- 第二希望や滑り止めは、志望校と似た試験科目のところを選ぶと勉強しやすい。

- TOEIC スコアが必要になる学校もあるので、4年生のうちに高いスコアを獲得しておくと思う。
- 勉強はだいたい計画通りには進まないの、早めに始める。
- 大学選びに迷ったときは、学科の先生に相談するといいいアドバイスがもらえる。
- 授業の内容を定期テストごとに理解しておく、受験勉強が楽になる。
- 自分の長所やアピールできること、成長したことを意識して生活しておく、面接で答えやすくなる。
- 面接は先生に心が折れるくらい練習してもらおうと、本番で緊張しにくい。
- 勉強すれば偏差値が高い学校にも意外といけるので、とにかく諦めずに勉強する。



# 第55回 工嶺祭 Stand Up!



## ライブ配信大成功

史上初のライブ配信でした。工嶺祭の歴史に残る大成功だったと自信を持って言えます! ご視聴くださった皆様ありがとうございました。



## 2年ぶりの体育祭!

全学生で「ソフトバレー」「バドミントン」「しっぽ取りゲーム」「大縄」「水汲みリレー」を楽しみました。新型コロナウイルス感染対策にご協力ありがとうございました!

# 体育祭



第55回工嶺祭は初のオンライン開催でした。高専生の想像力が存分に発揮された今年度の工嶺祭を振り返ります!



# ステージ企画



## 学科体験プログラム

長野高専について、わかりやすく、楽しく視聴していただける動画ばかりでした。



## クラス企画

クラス企画も初のオンライン配信でした。短い準備期間にもかかわらず、知恵と創造力を駆使して個性豊かな企画となりました。

# クラス・学科企画



# ECONOPOWER

今年度は大会が全て中止になりました。

例年ならば、Honda エコマイレッジ チャレンジの全国大会、鈴鹿大会、もてぎ大会や、スーパーマイレッジカーチャレンジ広島、Ene-1 GP の鈴鹿大会、もてぎ大会などに出演しておりました。また、通常であれば社会人の強豪チームなどのエコランカー製作現場を訪問して見学させていただいていますが、それも中止しました。さらには、自動車学校の教習路をお借りしての練習走行なども結果的にできませんでした。

そのような中でも、工夫しながら部活をしています。夏休み中に週に1回程度、オンラインの講習会を開催して今後につながる勉強ができたのは良かったのではないかと思います。

新車両の設計など、今できることをやりつつ、今後の飛躍につながる1年にできればと思います。



## 今年度の活動について

3C 西村 俊亮 (信州大学附属長野中学校出身)

今年度は、新型コロナウイルスによる登校禁止や部活動の活動制限により活動時間が大幅に減少しました。目標である大会が無くなったことにより活動計画の変更を余儀なくされました。

特に影響が大きかったのはまとまった時間が必要なカウル作成などのコンポジット作業で、進捗を思うように出せませんでした。しかし、限られた時間の中でも部員同士で協力して作業を進めることができ、来年度へ向けた活動ができました。来年度は先輩から受け継いだ技術を後輩に伝えと共に、全国大会クラス連覇へ向けて活動を進めていこうと思います。

# SECICON

## KOSEN セキュリティコンテスト 2020

11月14日(土)に一関高専主催の「KOSENセキュリティコンテスト2020」がオンラインで開催され、本校から2チームが参加しました。このコンテストは、全国の高専生・専攻科生を対象に開催されたもので、今年は24高専から51チームが参加しました。コンテストは、出題された問題からフラグを探し出すCTF (Capture The Flag) 形式で実施され、午前10時から午後4時までの6時間でどれだけフラグを探し出せるかを競うコンテストです。CTF形式のセキュリティコンテストは、暗号やWeb、バイナリなどのジャンルごとに問題されるため、とても幅広い知識が必要です。これからも積極的に参加して上位入賞を目指してほしいです。



## KOSENセキュリティコンテストへの参加

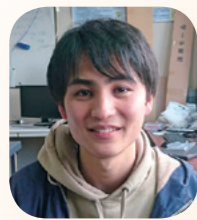
2-2(J) 佐藤 悠太 (松本市立信明中学校出身)

即席チームCyb3rizeNで参加しました。

私は、CTFの存在を以前から知っていましたが、外部のCTFは難しいという印象が強く参加することを避けていました。ある時、高専生限定のCTF無いかと探したのをきっかけに、参加を決めて友人二人を誘いました。

当日は、FLAGがどこにあるかを話し合ったり、協力してデコードしたりしました。個人でやる形になるかなと思っていましたが、チーム参加の良さが出てよかったと思います。

これを通して友人の一人は暗号の世界に魅了されたらしく、私も特定の分野に興味を持つことが出来ました。



## セキュコン!

5J 清滝 智広 (長野市立広徳中学校出身)

私たちは、KOSENセキュリティコンテスト2020という大会に出場しました。

私は、元々セキュリティの分野に興味を持っていて勉強もしていたので、自分の実力を上げるために参加しました。

今回2回目の参加になるのですが、以前よりチームに貢献でき成長を実感することができました。初めて参加するメンバもいましたが、チームで問題を解決するといったことが良くできたと思います。

セキュリティの分野は、知識をアウトプットする機会が少ないので、このような大会はとても貴重で良い体験になりました。



# DESIGNCON

## 第17回全国高等専門学校デザインコンペティション DESIGN COMPETITION 2020 in Natori

本年度のデザコンは、全国の状況を鑑み、初のオンライン形式での実施となりました。構造部門(紙で橋を造り、その軽さ、強さを競う部門)では、これまで参加してきた中でも上位となる6位(34作品中)という結果を残すことができました。もう少しで賞に手が届きそうです!!

新型コロナウイルスの影響で登校が制限され、例年よりも集まって作業する時間が少なかった中でこのような成績を残せたことは非常に誇らしいです。

来年度は、2021年12月、広島県は呉市での開催が決定しております。暮れの呉に行かないか。参加メンバー募集中です。



## ~ゆい~ デザコン2020 in なとり

5C 榎山 遥希 (信州大学附属松本中学校出身)

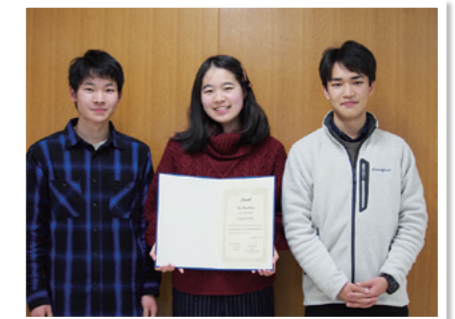
デザインコンペティション同好会は、高専の3大会のうちの一つデザコンに取り組む同好会です。今年度は、構造、空間、プレデザコンの三部門に、全10作品がエントリーしました。今年は、COVID-19の影響で9月頃まで集まって活動することができませんでした。そんな中でも、オンライン会議等を通して、アイデアを出し合い、作品を完成させることができました。大会の様子はオンラインで配信され、当日はみんなで学校に集まって大会の様子を見守りました。例年とは全く違う形での参加となりましたが、これはこれでありだなと思いました。来年は賞を狙って頑張ってもらいたいです。

# Speech Contest

## 第35回 関東信越地区 英語弁論大会

例年11月に関東甲信越地区の高専で開催される英語弁論大会ですが、今年は集合形式ではなく、DVD審査で大会が開催されました。本校からはレシテーション(暗唱)部門に山岸翔梧(2-3J)くん、スピーチ部門に松下一步(3E)くん、小林美月(4M)さんが参加し、小林さんが三位に入賞しました。

レシテーションは3分、スピーチは5分原稿を作成し、暗記して本番用の撮影に挑みました。山岸くんはオバマ前大統領が2016年に広島で行ったスピーチから引用した「That's Why We're Coming to Hiroshima」を、松下くんは自動車学校での体験を題材とした「How Can We Improve Car Systems with Our Technology,」そして三位に入賞した小林さんは「It's Not a Piece of Cake」と題したスピーチを行いました。



## Let's give it a try!! -English Speech Contest-

4M 小林 美月 (上田市立第四中学校出身)

英語弁論大会・スピーチ部門はテーマを自由に決められます。自由だからこそ何を書けばいいかわからない!なんてこともあると思います。例えば留学や高専のことは書きやすいです。しかしそれでは面白くない!と思い、去年から身近なものや趣味について書くようになりました(2年生から出場しています)。好きな漫画について語ったこともあります。自分の考えや興味があることを発表できる場が英語弁論大会です。そして何より、これから技術者として英語は必須!社会で必要な英語力やプレゼン能力が鍛えられます。来年、挑戦してみませんか?





### 関東甲信越地区大会

高専ロボコン2020 関東甲信越地区大会が11月8日にオンラインで開催されました。今年の競技名は「だれかをハッピーにするロボットを作ってキラリ輝くパフォーマンスを自慢しちゃおうコンテスト（略称：はぴ☆ロボ自慢）」でした。長野高専からはAチーム「BAKUSOKU★DOMINO」、Bチーム「acrobOX」、Cチーム「劇団鬼女」、Dチーム「どんちゃか龍舞」の4チームが参加しました。自宅でロボットを作成するなどの例年にはないコロナ禍の難しさがありましたが全チームが大会で演技を披露できました。その結果、Aチームが「特別賞（株式会社安川電機）」、Bチームが「デザイン賞」を受賞しました。Dチームは決勝ラウンドへ進出し、最優秀賞には届きませんでしたが審査員推薦枠で全国大会への出場を決めました。

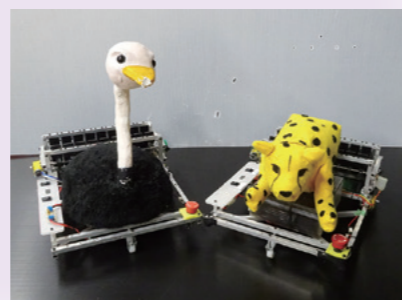


#### 上級生としてのロボコン

3M 海川 智祐（松本市立筑摩野中学校出身）

今年のAチームは、ドミノでモザイクアートを作るロボットを作成しました。今年から僕は上級生として、チームの方向性を決める立場になりました。半年間の製作の中で学んだことはチームメンバー全員が団結することの難しさです。しかし、それと同時に、自分の手でアイデアを形にするというロボコンの楽しさを知ることができました。地区大会では思うようにロボットを動かせず最下位という結果になってしまいましたが、コンセプトが評価されて特別賞をいただくこともできました。来年は全国大会での活躍を目指して素晴らしいロボットを作りあげたいです。

#### Aチーム



#### ロボコンという選択肢

1-4(S) 武田 蛍汰（長野市立川中島中学校出身）

僕ら1年生が入部したのは6月で、例年よりかなり遅れてロボコンに参加しました。そのため、右も左も分からないまま、2度目の登校禁止になり、本格的な遠隔部活になりました。部活をしていく中で、分からないことも多かったのですが、頑張った外装を着たロボットが動いたときは、とても感動しました。

また、地区大会ではチームのカメラ担当も務めさせていただきました。本番は、無事に終わることができ、良い達成感が味わえました。

この感動や達成感を味わえるのは、ロボコンのおかげです。みなさん！ロボコンという選択肢もありますよ！

#### Cチーム



### 全国大会

高専ロボコン2020全国大会は11月29日に地区大会同様にオンラインで開催されました。長野高専からは地区大会で審査員推薦枠に選ばれたDチーム「どんちゃか龍舞」に加えて、地区大会後に競技委員会推薦枠に選ばれたBチーム「acrobOX」の2チームが参加しました。地区大会終了後から3週間程度の短い期間でしたが、多くの方々からご助言を頂戴することもでき、地区大会で露見した課題を解決して全国大会に臨みました。その結果、両チーム共に予選敗退となりましたが、Bチームは失敗したものの例年のロボコンにはない空中合体に挑戦した姿勢が評価され「アイデア倒れ賞」を受賞し、Dチームは長野県各地から遠隔でロボットを操縦する技術力が評価され「特別賞（本田技研工業株式会社）」を受賞しました。



#### 仲間との繋がり

3S 小嶋 蒼依（中野市立南宮中学校出身）

私たちは、「空中での合体」を目標に掲げ、空中ブランコを行うロボットを製作しました。例年より2ヶ月遅く始まり、さらに夏休みはオンラインで繋がりがながら自宅で作業するなど、活動の制限がある中で、地上を走らないロボットは未知への挑戦でした。

地区大会では合体は成功したものの予選敗退となり、推薦枠として出場した全国大会では失敗し、合体を見ることができず、どちらもとても悔しい思いをしました。しかし、どんなときも笑顔あふれるチームメンバーのおかげで、初めて大会を楽しみと感ずることができました。

来年こそは自分たちの力を全て出し切れるよう、どんどんチャレンジしていきたいです。ぜひ一緒にロボコンに挑戦しませんか？

#### Bチーム



#### 離れていても心は密に

3E 新村 奨（信州大学附属松本中学校出身）

僕たちはロボットで信州・御代田龍神まつりを再現しました。

龍神まつりは御代田町で47回続くお祭りです。今年はコロナの影響で開催できず、「迫力がある龍神まつりを見られないのは悲しいことだ」と思い、ロボットで再現しようと考えました。またどのような状況になってもロボコンに参加するため、遠隔操縦の技術を開発し、本番では家からロボットを操縦しました。

龍神まつりの再現にあたっては多くの方々から協力いただきました。関連団体すべてと連絡を取り、一つのプロジェクトを成功できたことを誇りに思います。

来年度も素晴らしいロボットを作り上げたいです。

#### Dチーム



#### 全国大会結果

●長野高専 Bチーム  
予選敗退  
アイデア倒れ賞 受賞

●長野高専 Dチーム  
予選敗退  
特別賞（本田技研工業株式会社）受賞



## 令和2年度後援会総会報告

令和2年度総会は6月13日(土)に、長野市「ホテルJALシティ長野」にて開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、後援会三役において総会開催の可否を検討した結果、総会は中止としました。

総会議案は急遽「書面議決」とし、その結果を総会議決とさせていただきます。このことは会則にはないことですが、コロナ禍において本年度の活動を停滞させないためのやむを得ない措置でありました。保護者の皆さまには、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。結果については以下の通りです。

### 令和2年度長野高専後援会総会議決結果

総人数62名 回答60名 無回答2名

- (1)議案 令和元年度会務・事業報告  
承認60、否認なし、無効0
- (2)議案 令和元年度決算報告  
承認60、否認なし、無効0
- (3)議案 令和2年度会務・事業計画(案)  
承認60、否認なし、無効0
- (4)議案 令和2年度予算(案)  
承認60、否認なし、無効0

結果 すべての議案について、過半数の承認をもって可決されました。(特記事項 ご意見、ご質問はありませんでした。)

事業計画の遂行があまりできない状況ですが、オンラインでの大会に出る部活もありました。令和2年度は残り少なくなりましたが、まだ後援会の事業が残っています。学生のために微力ではありますが支えていきたいと考えています。

## 令和2年度予算および令和元年度決算報告

### 【収入の部】

(単位：円)

科目	R2年度予算	R1年度決算	備考
入会金	3,780,000	3,680,000	新入生 20,000/1人・編入生 10,000/1人
会費	20,767,500	20,358,000	19,500/1人
特定預金取崩収入	2,500,000	1,000,000	財政安定化基金取崩
その他収入	500	356	預金利息・雑収入
繰越	3,415,389	3,344,662	
合計	30,463,389	28,383,018	

### 【支出の部】

(単位：円)

科目	R2年度予算	R1年度決算	備考
課外活動	13,395,000	11,447,650	部活動・高専体育大会旅費・ものづくり支援
教育援助	3,410,750	2,923,636	教育支援・学校行事・専攻科・学生図書
その他援助	5,920,000	6,021,969	学生指導・寮生・国際交流・教員課外活動等支援
運営費	4,855,000	4,161,558	会議費・役員旅費・支部運営費・事務費・給与・慶弔費
特定預金	300,000	300,000	事故対策・周年事業・財政安定化積立
予備費	2,582,639	112,816	緊急を要する支出
合計	30,463,389	24,967,629	

## 校内短信 INFORMATION

### 桜風寮が整備されます

桜風寮は、国際的な視野を持ち海外で活躍できる技術者を育成するため、留学生と日本人学生の共同生活が可能なおシェアハウス型の寮として整備されます。留学生との日常的な交流を通じ、語学力の向上を図るとともに海外留学や海外インターンシップへのマインドを育成します。

桜風寮は令和3年度中の運用開始を予定しています。

桜風寮外観イメージ図



### 表紙のこぼし 冬を楽しむ 一般科教授 大西 浩次

2020年の年末、夕暮れの西空で木星と土星の“超”大接近が見られた。木星と土星の公転周期はそれぞれ約12年と約30年、このため、20年に一度、木星が土星に追いつき追い越してゆく(会合)姿が見られる。そう、今年成人式を迎えた皆さんは、ちょうど、20年前に同じような現象が起きていたのだ。一方、この公転周期の公倍数である約60年ごと、ほぼ、同じ天球の位置で見られる。今年二十歳のみなさんが還暦(60歳)のときは、木星と土星の位置が生まれた時と同じになるのです。ただし、今回ほど近づく“超”大接近は1623年7月17日以来、実に約800年ぶりの“超”大接近でした。写真は、国立天文台野辺山の野辺山ミリ波干渉計の電波望遠鏡越しの木星と土星と月の接近の様子だ。

撮影日時：2020年12月17日42分

撮影者：大西浩次

<http://www.nro.nao.ac.jp/~uchuukuen/html/index.html>

(注)M、E、S、J、Cと記す場合は、それぞれ、機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、電子情報工学科、環境都市工学科の略称です。また、AP、AEと記す場合は、それぞれ、専攻科生産環境システム専攻、専攻科電気情報システム専攻の略称です。

「学園だより」バックナンバーは以下にアクセスすることにより、PDFでダウンロード可能です。 <http://www.nagano-nct.ac.jp/>